

# 大雨などによる災害の種類

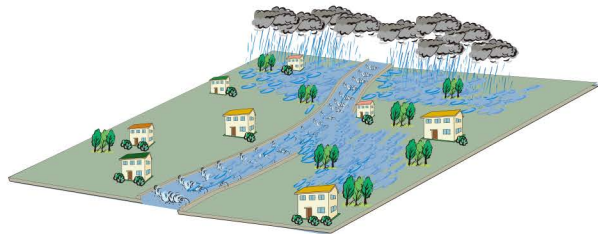
大雨などにより、川の水量の増加や地中にしみこんだ水分などが起因となり、大きな災害に発展する場合があります。事前にその災害のメカニズムを理解し、身近に起こりえる災害に対応しましょう。

## 川の氾濫（浸水）

雨量の増加によってもたらされる氾濫（浸水）には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水による氾濫（浸水）」と、街中の排水が間に合わず、水路などからあふれ出す「内水による氾濫（浸水）」の2タイプがあります。

### 外水による氾濫（浸水）

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える。あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増しますので、最大の注意が必要。



### 内水による氾濫（浸水）

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれずに溜まっておきる洪水。川の水位が何mに達すれば警報を出すなどの対応が難しいため、注意が必要。



## 土砂災害

土砂災害警戒情報が発表されていなくても、ふだんと異なる状況「土砂災害の前兆」に気付いた場合には、直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、役場などの関係機関に連絡してください。日ごろから危険箇所や避難場所・避難経路を確認しておくことも重要です。土砂災害の危険箇所については、防災ハザードマップ（P13～P28参照）の土砂災害警戒区域を確認してください。

### 急傾斜（がけ崩れ）

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



### 土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速 20～40km という速度で一瞬のうちに人家や畑などに被害が発生します。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

# 災害に関する情報

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5	命を守る最善の行動	
町が発令 （緊急）	既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報
	速やかに避難場所に避難しましょう。外に出ることが危険と思われる場合は近くの安全な場所や自宅の2階など、より安全な場所に避難しましょう。	避難指示（緊急） 避難勧告
警戒レベル4	全員避難	
避難準備・高齢者等避難開始	高齢者等は避難	
	避難に時間のかかる方（高齢者、障がい者、乳幼児等）とその支援者は避難をしましょう。その他の人は避難の準備をしましょう。	避難準備・高齢者等避難開始
警戒レベル3	避難行動の確認	
自主避難	避難に備え、自らの避難行動を確認しましょう。	注意報
	災害への心構えを高める	
	気象情報等の最新情報に注意し、災害への心構えをしましょう。	早期注意情報
警戒レベル2		
警戒レベル1		

## 避難を開始するタイミング

あなたが避難しようと思ったとき、外は大雨など「外に出たくない」と思わせる状況になっていることもあります。しかし身を守るためには、早めの避難（自主避難）が大切です。危険を察知したら速やかに避難しましょう。

雨の降り方が異常だ



山の様子がおかしい



土砂災害警戒情報が発表された



避難勧告等が発令された

